

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

卒業研究抄録集(看護学科) (2016.12) 平成28年度:5-6.

新人看護師の考える看護学生が卒業するまでに修得しておくべき看護技術についての実態調査

越智 明日花, 小林 協江

新人看護師の考える看護学生が卒業するまでに修得しておくべき看護技術についての実態調査

越智明日花 小林協江

(指導：升田由美子)

緒言

本研究では、新人看護師を対象に今現在修得が不十分でありかつ修得の必要性が高いと感じている看護技術、学生時代の学校内での技術練習・自己学習をもっと行っておけばよかったと考える看護技術について実態調査を行い、在学中に看護学生がより主体的に修得しておくべき看護技術を明らかにする。

方法

【研究対象】 B 病院（手術部を除く）に勤務する入職 5 か月が経過した新人看護師 57 名。

【データ収集方法】 各病棟の師長に依頼し、質問紙と個別回収用封筒を新人看護師に手渡してもらった。B 病院の男女職員更衣室に鍵付き回収箱を平成 28 年 9 月 12 日～30 日まで設置し、留め置き法で実施した。

【調査内容】 厚生労働省の「新人看護職員研修ガイドライン [改訂版] の技術的側面：看護技術についての到達目標」¹⁾ を参考に自作の無記名自記式質問紙を作成した。技術的側面の 69 項目から、今現在修得が不十分でありかつ修得の必要性が高いと感じている看護技術を 5 つ選び、選んだ技術に関して学生時代の学校内での技術練習・自己学習により「修得できる」、「修得できない」、「修得できないが問題はない」のいずれかを選択してもらい、さらにその理由や具体的にやっておけばよかったと考える学習の内容について記入を求めた。また、学生時代の学習について振り返り在学中に学習していたことで修得できている看護技術とその学習方法について記入を求めた。

【分析方法】 データは単純集計し、自由記載は意味内容の類似性により整理した。

【倫理的配慮】 本学倫理委員会の承認を得て実施した（承認番号 16091）。対象者に対し、書面で研究目的、方法、倫理的配慮、匿名性の保証、目的外使用はしないことについて説明を行い、回収箱への投函をもって本研究への同意が得られたとした。

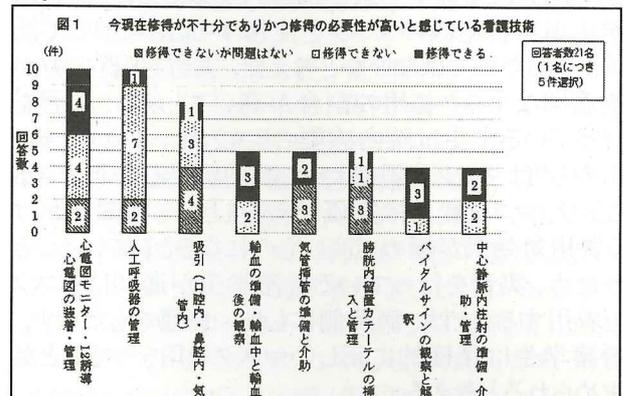
結果

回答が得られたのは 21 名であった（回収率 36.8%）。回答者の教育背景は、看護専門学校 7 名（30%）、4 年制大学 14 名（70%）であった。69 項目のうち新人看護師が選択したものは 42 項目であった。今現在修得が不十分でありかつ修得の必要性が高いと感じている回答が多かった技術を図 1 に示し、それらに関して修得の可否とその理由を、「修得できる」の回答数が多かった順に表 1 に示した。

1. 学生時代に修得できると考える看護技術

今現在修得が不十分でありかつ修得の必要性が高いと感じている回答が多かった項目の中で「修得できる」の割合が高かったものは、「心電図モニター・12 誘導心電図の装着・管理」、「輸血の準備・

輸血中と輸血後の観察」、「バイタルサインの観察と解釈」であった。表 1 の「修得できる」と考えた理由には、どの看護技術にも「技術練習をすれば修得できるため」という共通した回答があった。



2. 学生時代に技術練習や自己学習をしていたことで修得できている看護技術と行った学習方法

12 件の回答があり、保清（清拭、洗髪、陰部洗浄）、ベッドメイキング、病衣交換、おむつ交換が学生時代に技術練習や自己学習をしていたことで修得できている看護技術であった。行った学習方法で共通したものは「学生同士で実技練習を行う」、「数多く実践する」、「状況に応じて行う」、「方法を模索しながら行う」、「どうしてうまくいったのかを考えながら行う」であった。その他の回答は、「学生時代に行う学習で無駄なものはない」、「一つ一つの行動に疑問を持ちながら学習を進める」、「学生で企画して行いたい看護技術のアンケートをとり、学生で手技のレジュメを作る」であった。

考察

1. 学生時代に修得できると考える看護技術

学生時代に「修得できる」と考えた理由には、「技術練習をすれば修得できる」という回答が多く、看護技術を修得するためには技術練習が重要だと新人看護師も実感していると言える。基礎看護技術の教科書には、「反復した実技訓練を行うことで技能を身に付けてこそ、技術習得が可能となる。」²⁾ と記されている。また、先行研究では、「演習方法に具体的な実習場面に即した内容を取り入れる、初心者である学生が実施できるように、経験の回数を重ねられる状況を作る」³⁾ と述べられている。これらのことから、看護技術修得のために学生同士で時間を作って主体的に技術練習を積み重ねていくことが重要であると考えられる。

「修得できない」と考えた理由にもあるように、学校での演習は時間や物品の制約があり完全に技術を修得することは難しいと言える。一方で、講義では取り上げられている内容であるため、少なくとも実践に必要な知識は身につけることができるのではないかと考える。

「修得できる」の割合が高かったものについて、「心電図モニター・12誘導心電図の装着・管理」は図1と表1の結果から、管理を十分に修得することは難しいが装着方法や波形・症状などの知識の学習が必要であり、講義の機会を増やすことや自己学習を行うべきだと考える。「輸血の準備・輸血中と輸血後の観察」については観察項目や注意事項の自己学習が必要であると分かり、「バイタルサインの観察と解釈」は方法だけではなく原理や異常値、解釈の部分をもっと学習し、個別性に合わせた観察を行えるように学習する必要があると言える。これらのことから、技術練習の積み重ねだけではなく、看護実践するにあたっての根拠や介入方法の過程を理解できるように学習していくことが看護技術の修得に向けて必要だと考える。

「知的かつ倫理的な方法、熟練した実践を行うには、知識と、それらの知識を用いる能力」⁴⁾が必要であるとベナーも述べているように、看護技術の手順や観察項目だけを頭に入れて技術練習するのではなく、なぜその手順なのか、なぜその観察が必要なのかという理由や根拠を理解して技術練習をしていくことで、確実な看護技術の修得や患者の個別性・状況に合わせた看護実践につながると考える。

2. 学生時代に技術練習や自己学習をしていたことで修得できている看護技術と行った学習方法

「新卒看護師の基本的看護技術習得状況に関する実態調査、看護管理」⁵⁾では、新卒看護師の1年後達成率が高い看護技術は、基本的なベッドメイキング、環境整備、バイタルサインを正しく測定、清拭、衣生活援助などが挙げられており、本研究の結果とほぼ一致している。このことから、学生

時代に演習や技術練習を繰り返した看護技術が入職後の看護にも生かされていると考える。これらの看護技術は学生同士でも技術練習を行うことができることから、状況に応じて方法を模索しながら行い、うまくいった場合もどうしてうまくいったのかを考えながら何度も実践すると確実に看護技術を修得していけるのではないかと考える。講義だけの受け身な学習ではなく自主的に学習を進め修得していくために、他の学習方法として挙げた「学生で企画して行いたい看護技術のアンケートをとり、学生で手技のレジュメを作る」という方法を取り入れることで、主体的に看護技術や知識を修得することに貢献できるのではないかと考える。

謝辞

本研究にあたり、調査にご協力いただいたB病院の新人看護師の皆様、および看護部長・副看護部長・各病棟看護師長の皆様に深謝いたします。

引用文献

- 厚生労働省：新人看護職員研修ガイドライン【改訂版】. 2014. <http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000049578.html>, (参照 2016/06/12).
- 有田清子, 他. 系統看護学講座専門分野 I 基礎看護学 ②, 基礎看護技術 I. 医学書院. 2011:15.
- 菊地美香, 大野和美. 成人看護学急性期領域の実習における看護技術教育の検討 (第2報) -実習前技術演習を取り入れたことによる変化-. 天使大学紀要. 5. 2005:39-50.
- パトリシアベナー, 井上智子監訳. ベナー看護ケアの臨床知行動しつ々考えること. 第2版. 医学書院. 2015:871.
- 福井トシ子. 新卒看護師の基本的看護技術習得状況に関する実態調査. 看護管理. 19 (4). 2009 : 254-261.

表1 今現在修得が不十分でありかつ修得の必要性が高いと感じている8つの看護技術に関する記述内容 (○内は回答数)

	「修得できる」と考えた理由	「修得できない」と考えた理由	「修得できないが問題はない」と考えた理由	学生時代に必要だった学習
心電図モニター・12誘導心電図の装着・管理 (10)	授業での学習や友達同士で技術練習すれば確実にできるようになるため。(4)	実際に経験を積まないでアセスメントが十分にできず修得は困難だから。(4)	研修で十分に修得できるため。(2)	モニター類の装着の技術練習、波形の読み方の自己学習、より詳しい講義内容
輸血の準備・輸血中と輸血後の観察 (5)	観察点・注意事項の自己学習や技術練習をすれば修得できるため。(3)	授業内容になかったため。現場で行われているすべてのことを授業では学べなかったから。(2)	回答者なし	観察点や注意事項の自己学習
バイタルサインの観察と解釈 (4)	バイタルサインが変動する根拠や異常値について学習しておけば修得できたため。(3)	授業や実習だけでは不十分で、修得するには勉強と経験を積み重ねていく必要があるから。(1)	回答者なし	バイタルサインが変動する根拠や異常値についての自己学習
気管挿管の準備と介助 (5)	技術練習を行うことで修得できるため。(2)	回答者なし	学生時代に修得する看護技術としては優先度が低く、研修で修得できるため。実際に現場で行うことで修得できるため。(3)	ロールプレイなどの技術練習
中心静脈内注射の準備・介助・管理 (4)	教科書や資料を用いて学習することで介入方法は学べるため。(2)	授業内容になかったため。(2)	回答者なし	さらに詳しい講義と演習
人工呼吸器の管理 (10)	技術練習をすれば修得できるため。(1)	経験を積む機会が少なく、授業にもなかったため。(7)	研修を受けることができるため。学生時代に学ぶには優先度が低く、ほかに学ぶほうがよい。(2)	記述なし
吸引(口腔内・鼻腔内・気管内) (8)	技術練習を行うことで修得できるため。(1)	シミュレーターに対して行うのと実際の患者に対して行うのでは異なるため。(3)	研修で修得できるため。(4)	技術にかかわる知識の自己学習
膀胱内留置カテーテルの挿入と管理 (5)	手順はシミュレーターで技術練習することで修得できるため。(1)	シミュレーターに対して行うのと実際の患者に対して行うのでは異なるため。(1)	研修で修得できるため。患者によって異なるため学生時代の修得は難しいが、経験を積むことで修得できるため。(3)	シミュレーターでの技術練習